

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー・月信
1991・3・15 No.10

国際ロータリー 第276地区
DISTRICT 276

RI 会長/ PAULO V. C. COSTA
RI 理事/ 蔵 並 定 男



ロータリーを高めよ
思いを尽くし熱意を尽くし

1990—1991年度
国際ロータリーのテーマ



春間近か白鳥400羽北帰行近づくと（石川県邑知湯にて 大村副幹事撮影）

3月のことば 陽 春

R I 第276地区ガバナー

中 村 繁 男



各クラブ会長・幹事の皆さん。ロータリアンの皆さん。

陽春の「陽」は辞典によると「易で天・日・男・動など、相対的に積極的・能動的なものを表す語」と説明されています。ロータリー活動においても、アクティブに、今年度の仕上げに向うときであろうと考えております。

コスタ会長から、2月23日の「ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日」にあたり、白いリボンを胸章の下につけて、平和を祈るよう要請がありました。また日本のロータリーは、ガバナー会で難民救済基金として、お1人2千円をご寄付頂くようお願いすることを決めました。国連難民高等弁務官にご就任の緒方貞子さんはR.財団の初期の留学生で、戦後の日本人の苦しい時期に外国へ留学されました。私たちは緒方さん応援の意味も含めて、難民救済に力を貸そうではありまか。戦争勃発にあたって、力の足りなかった分を、このささやかな貢献で少し埋め合わせようではありませんか。

月信第9号「2月のことば」の中で、RI会長代理紹介に敬称を落しました。伊藤義郎氏又は様とすべきで、このようなミスは申し訳ないだけでは済まされません。お目にかかったとき、直接お詫びを致します。

1月30日、名古屋観光ホテル、2月4日、豊橋グランドホテルで、地区クラブ奉仕委員長会議を開きました。定款・細則の中の「理事および役員選挙」につき、福与委員長、山内副委員長、名古屋中クラブ前年度会長の南館欣也君の説明を中心に、活発な討論が進められました。カウンセラーの福田P.G.からも問題点のご指摘がありました。各クラブの関係者の方々も、

次年度役員理事の編成にあたり、大いに参考になるところがあったと思います。クラブ推奨細則の第1条は邦訳の難解さが問題となっています。川崎北クラブのP.G.で邦訳諮問委員の津田進先生にお願いして、ロータリー文庫で調べて頂いたところ、何回も改訳されていることが分りました。また第1条の代案は1936年の手続要覧（当時英文のみ）に既に採用されていることがわかりました。私は日本支局に対し、邦訳をもつとわかり易くして頂くことをお願い致しました。また福田P.G.にお願いして、地区内数クラブの共同の制定案を1992年の規定審議会に上程すべく起案して頂いております。

2月のはじめから、米山奨学生選考、尾張旭クラブ20周年、第1第3ゾーンWCS会議、ガバナー会、名古屋名南クラブ創立総会、豊山城北クラブ5周年、地区大会企画委員会、「友」主催のガバナー座談会等々の行事がつづき、息つく暇もありませんでした。WCS会議では安藤地区委員長の発言が話題となり、当地区のWCS活動が日本の各地区内出色のものであることが再確認されました。名古屋名南クラブは女性4名を含む59名で発足致しました。名古屋東南クラブ熊谷特別代表、岩田会長以下、皆々様のご尽力に対し厚く御礼申し上げます。

さて、IMにつきましては、東尾張分区が2月16日、ホテルナゴヤキャッスルで、三河第1分区が2月17日、伊良湖ビューホテルで行われ、有終の美を飾りました。IMも回を重ねるにつれ、若い会員が発言に馴れ、討論も活発になりました。分区代表の皆さんのご指導の適切であったことは勿論であります。

小野君（瀬戸）のロータリー用語の難解につ

いての訴えには同感ですが、すべて伝統にさからうことはよいことではありません。次第に改正してゆくべきでしょう。丹羽君（岩倉）の「退会者を減らすこと。」「気楽すぎではいけない。」「現実を厳しく見つめた発言でした。石原君（江南）のSAA論は全く私の意向に一致するもの、SAAの役員としての地位を高めることは、公式訪問で何回もお願いしたことであります。小川君（犬山）の環境問題への問いかけは参加者全員の共感を呼びました。グローバルの視点からとらえること、異業種間交流で効果をあげること。正にR.I.会長の意向に添うものであります。松浦君（豊山城北）はジョン・レノンのうたを通して、「国境もなく、殺し合いのない」世界の実現を夢みることの発言は胸に突き刺さりました。

鈴木君（豊橋北）がP.ハリスの「ロータリーの理想と友愛」を読んだ感想を紹介してくれたことに敬意を表します。私も時折、この書をひもとくのですが、P.ハリスの考え方がいっいち現実に叶うことに驚きを感じています。私は先ずロータリーの基本をこの書から学ぶことにしています。それはP.ハリスと米山梅吉翁の畢生の大仕事を集約したものと言っても過言ではありません。畑川君（蒲郡）の拡大についての報告は大へん興味深く承りました。述べられた数字の中で、拡大反対が23%のみであったことを、力強く感じました。国際ロータリーはロータリー・クラブがカナダへ飛び火して以来、拡大をひとつの使命としています。私はロータリー

の空白地帯とは、地理的空白でなく、ロータリーを今必要としている地域であると思います。最近の新クラブが50～70名の創立会員を擁して出発できるのは、ロータリーの需要があるということを示明らかに証明しています。昼間に時間が割けない人々のためには、夜間でも、早朝でも適切な例会時間を考えてあげればよいと思います。ロータリアンとはバッジをステータス・シンボルとしている人の集まりではありません。人類愛と平和を目指す行動的な人々の集団であります。ロータリーの空白地帯を埋めてゆくことが、私たちの義務であります。松井君（田原）の発言中に「ロータリアン定年制」という言葉がありました。ロータリーに定年はありません。年令に制限なく、だれもがロータリーを楽しむ権利を持っています。しかし、クラブの活性化を考えると、重要なポストに若い人々を起用することは大切なことです。伊藤君（奥三河）の「水」についての発言は内容豊富でした。下流にダムを築くことが、上流の水温に変化を与え、鮎の抵抗力を弱めるというあたり、一同大いに考えさせられました。卓上のコップの水を飲むことをつい遠慮しなければならないくらい、節水の重要性を認識させられました。

7回に及ぶIMにパネリストとしてご参加頂いた方は、合計53名の50歳前後の会員でした。出来得れば、一般参加者との討論を期待もしたのですが、懇親会も大いに必要であり、フォーラムの時間に制約があったことをお許し頂きたいと思います。

1990年ロータリー国際理解賞受賞者

バクラフ・ハーベル氏

国際的に尊敬を受けている劇作家及び随筆家で、人権擁護協会、Charter77の創立会員であるバクラフ・ハーベル氏は、自由の理想を掲げた30年以上にわたる頑強不屈の抗議運動のために迫害を受けてきました。その正しさが実証された現在、チェコ・スロバキアの議会の全会一致により同国の大統領に指名されたハーベル氏は、今後も引続き、世界理解、友好および平和を推進する自由と民主主義の世界で最も雄弁な表明者の一人として活躍されることとなります。同氏の生き方と成し遂げたことは、真にロータ

リーの奉仕の理想を物語っております。

これまでの受賞者

- 1981年 岩村 昇博士（日本）
- 1982年 ヨハネ・パウロ二世ローマ法王
- 1983年 ロッタ・ヒツマノーバ博士（カナダ）
- 1984年 世界スカウト活動組織
- 1985年 アルバート・セイビン博士（米国）
- 1986年 赤十字国際委員会
- 1987年 ランフェリー伯爵夫人（英国）
- 1988年 救世軍



役員と理事

名古屋空港RC
パストガバナー 福田 浩三

第276地区クラブ奉仕委員会会議が盛大に挙
行せられたことを心からお慶び申し上げます。
これに対する準備委員会の討議のなかで、大変
興味のあった件は、理事及び役員の選挙につ
いて、手続要覧のクラブ細則の日本語が難解で、
意見の統一ができなかったことです。特に第1
案の理事候補者と被選理事が不明瞭でした。と
ころが、英語版即ち原文をしらべたところ、翻
訳の不適切がその因であることが強く感じられ
ましたので、以下それをお示して、諸賢のご
理解を得たいと存じます。

MANUAL OF PROCEDURE 1989版 P229

At a regular meeting one month prior to
the meeting for election of officers (第一
案) nominations shall be called for by the
presiding officer for candidates for the
board of directors; 下線の部分が日本版に理

事候補者と訳されています。これは、正しく意識
すれば、理事会メンバー候補者とすべきです。

SECTION 2—The board of directors—elect
shall meet within one week after the annual
meeting and shall elect from its members
the following; (1) a president……この下
線の部分が日本版では、被選理事と訳されてい
ます。正しい意識は、被選理事会メンバーであ
ろうと思います。

第2案は問題ないと思いますが、第1案採用
のクラブでは、会長が理事か役員かの論議があ
った事とおもいます。会長は役員 (OFFICER)
です。RIの会長も役員であり直接にelectされ
ます。理事の互選ではありません。

手続要覧はロータリアンの六法全書ですが、
『意味、解釈について疑義が生じた場合、英文
が正文となる』と序文に明記してあります。

中村ガバナー・加納ガバナーノミニー

蒲郡RCの例会を訪問

3月1日(金)、中村ガバナー、加納ガバナー
ノミニーは蒲郡RC(陶山登是雄会長)例会を
訪問、来年度のためのクラブ拡大の要請を行う。
折しも湾岸戦争終結直後の例会でもあり、明る
くなごやかな雰囲気の中で熱っぽくクラブ拡大
のための要望のスピーチがガバナーより行われ、
又加納ガバナーノミニーからはユーモア溢れ
る、次年度の協力要請がありました。蒲郡プリ
ンスホテルの例会場からは近くに美しい竹島が
眺められ、早春の海には鴨の群が飛び交っていた。



知多の子供らの善意から・児童絵画で国際交流

知多RC国際奉仕委員長 平 松 典 保

「タイの子供たちに教材を贈ろう」と市内の小・中学校に提供を呼び掛け鉛筆、ノートなどの文具がダンボール30箱分が集まった。国際奉仕委員会の平松典保委員長と副会長の新美皓哉さんの2人が11月29日からこれらの文具類を持ってタイに届けました。

私共クラブは毎年、タイに35,000円寄付していますが、今年は平松委員長の発案で、タイに不足しているとされる教材を送ることになり先月、市内の小・中学校計15校に不用の文具などの提供を依頼した。

各校で、校内新聞などを通じて呼びかけたところ、筆記具、絵の具、ノート、筆入れ、絵本などダンボール30箱分が集まった。中には子供たちが描いた絵もあり、鉛筆は新品を含め7箱分、絵の具は5箱分になった。

市長は「素晴らしいことです。知多の子供の温かい心がタイの子供に伝われば」と話していた。そして今度、タイ国のランブーン市のあるアヌマラン・ランブーン小中学校から、児童生



徒の絵画作品など283点が、知多市の知多ロータリークラブに届いた。3月1日から3日まで、勤労文化会館で展示する。そのあと15小中学校に回覧するほか、児童生徒の交流が計画されている。

ロータリークラブは、タイに教材援助をしている。昨年11月、平松典保国際委員長らが、市内の小中学校に呼び掛けて集めた鉛筆、ノート、画用紙など段ボール箱30個分の教材を同小中学校を訪ねて贈り、交流を約束した。

竜巻見舞の協力を全国に呼びかけた

R I 第279地区ガバナー 平塚新兵衛君

昨年12月、茂原市を中心に県東南部を襲った竜巻の見舞いに一と、国際ロータリー第279地区（千葉県）の平塚新兵衛ガバナーが28日、千葉日報福祉事業団に現金3,640,878円を寄託した。同ガバナーの寄託は昨年12月20日に続いて二度目。

平塚ガバナーが竜巻被害後、日本国内にある30地区の国際ロータリー・ガバナー会の座長を務める第258地区（東京都）の加美山節ガバナーを通じ国内のガバナーに災害募金を要請したほか、県内の各ロータリークラブにも呼びかけていた。

昨年の被害直後に同福祉事業団に寄せた分は、県内の各クラブから寄せられた内の200万円。

今回の寄託は258地区はじめ、277地区（埼玉）、275地区（東京）、255地区（茨城・栃木）、257地区（埼玉）、253地区（福島・山形）、266地区（大阪）、251地区（北海道）、**276地区（愛知）**、それに東京・日野ロータリークラブなど全国からと、県内54クラブから寄せられた義援金。災害見舞いはさらに寄せられる見込みで、平塚ガバナーは今後も寄託したいとしている。

同福祉事業団では、前回寄せられた見舞いと同様、今回も千葉県を通じ茂原市をはじめとする被災地に善意を贈ることにしている。

この竜巻は12月11日夜に発生したもので、死者1人、重傷6人、軽傷73人のほか81戸が全壊、160戸が半壊、一部破損は1,594戸（12月14日まとめ）に上り、戦後最大の被害となった。

INTERCITY MEETING (IM) 三河第一分区

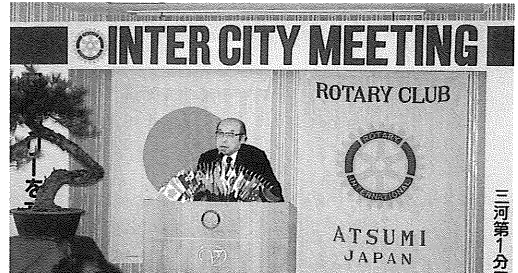
1991・2・17/伊良湖ビューホテル/分区代理 間瀬誠一/ホスト渥美RC

三河第一分区のI.Mは、中村ガバナー、高沢Pガバナーをフォーラムリーダーをお願いして、地区最南端の地、伊良湖ビューホテルにて440名が参加して行いました。

パネリストの方に一度集っていたべき、ガバナーの御意向をお話して、若い会員に、RI会長の「ロータリーを高めよ！」のテーマに基づいて忌憚のない意見を述べて欲しいと、お願いしました。

6名のパネリストの方々が、それぞれ、例会での諸問題、環境保全、又拡大の問題等、若さ溢れる、自由活達な意見を述べていたべき、両アドバイザーより適切なアドバイスをいたすべきました。ガバナーの御講評、加納ガバナーノミニの御挨拶にも大変お褒めいたべき、大変有意義なフォーラムであったと思います。

午後の懇親会は、会場をシアターホールに移し、次期分区代理、次期I.Mのホストの御紹介



とか、御挨拶をいたべき、ショーを楽しみながら、楽しい雰囲気の中、大いに友愛を深めていたべき、最後に全員で「手に手つないで」を合唱して開散しました。

I.Mを意義あらしめた、パネリストの方々を御紹介し、色々と準備をしていたべき、渥美RCの皆様に感謝申し上げます。

鈴木茂久君（豊橋北）、関口三千彦君（豊橋南）、畑川喜雄君（蒲郡）、松井 昭君（田原）、伊藤堯祥（奥三河）、小林 功君（豊川宝飯）

名古屋名南RC設立報告

特別代表

熊 谷 勝 平 (名古屋東南RC)



中村繁男ガバナーのご指導により、名古屋東南RCが20周年事業の一つとして、スポンサーとなり、名古屋南、瑞穂両RCのご協力のもとに、平成3年2月19日午後6時から名鉄グランドホテルにおいてガバナーはじめ150名の出席

を得て、設立総会を開催し、新クラブ名古屋名南RCが誕生することになりました。

創立会員59名、うち女性会員4名の参加は名古屋市内で初めてのことであり、午後6時30分という夜間例会も市内2番目のことです。

クラブ一丸となり、ロータリー精神をもって特に健全なクラブ運営と家族ぐるみの親睦・奉仕活動に邁進することを誓っております。よろしくご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

ク ラ ブ 名 名古屋名南ロータリークラブ
区 域 限 界 名古屋市南区および緑区
例 会 日 時 火曜日 午後6時30分より
例 会 場 名鉄グランドホテル
事 務 局 名古屋市中村区名駅1-2-4
名鉄グランドホテル13階 307
☎052-586-2043

INTERCITY MEETING (IM) 東尾張分区

1991・2・16／ホテル・ナゴヤキャッスル／分区代理 青山鍵夫／ホスト瀬戸北RC

「ロータリーを高めよ」をテーマに、IMは中村ガバナー、奥谷・福田・近藤バストガバナーを始め特別出席者を合せて417名の参加のもと、中東戦争、湾岸周辺環境破壊が懸念される2月16日（土）友愛の雰囲気の中で開催されました。今回は中村ガバナーの意向で、パネリストには、若い世代（50才未満）の会員の中から各クラブ1名を推薦願い、フォーラムの主役をつとめていただきました。

パネリストのテーマは大別して、クラブ奉仕関連4名、職業奉仕関連2名、社会奉仕関連2名、青少年奉仕・その他2名でありました。奉仕の基盤としてのクラブ奉仕のあり方、ロータリアンのマナー・エチケットとSAAの役割、会員増強の問題点、難解な職業奉仕、身近な社会奉仕、環境保全は永遠の課題、青少年交換；ホストファミリーにマニュアルを、青少年の鑑一ロータリアン等、幅広く、多彩なものでありました。パネリストの真剣な取組みは中村ガバ



ナー奥谷・福田両バストガバナー的確なアドバイスと相まって、ロータリーの学習と情報交換の面で、まことに実り多い2時間でありました。

多忙の中、一日をロータリーを高めるために400余名がIMの成功に協力された共通の体験こそロータリアン相互の信頼を深め、親交を結ぶものと確信いたします。

懇談パーティーは中村ガバナー始め全員和気あいあい歓を尽して語り合い、友情の深まりを喜びつつ散会。今回のIM成功に寄与されたパネリスト各位とホスト・瀬戸北RCの各位に感謝し、報告と致します。

生態環境保全と 平和のための行動要請

Paulo V. C. Costa

「われらの天体、地球の保全」プログラムが、国際ロータリーによって始められましたが、その目的は、大気と水の清浄さを取り戻し、地球の植物と動物の成長を図ることによって全人類の生活の質を高めることにあります。極めて有望であり、緊急に必要とされることです。

ところが、私たちの惑星の生態環境は戦争によって脅威にさらされています。人命を奪うだけでなく、環境を脅かす恐ろしい戦争です。ペルシャ湾では環境テロが吹き荒れています。これに比べれば、これまでの環境破壊は小規模に見えるくらいです。

戦争は環境の恐ろしい敵です。戦争は自然に対

する罪で、あらゆるレベルにおける調和のとれた環境を破壊します。かけがえのない生命が奪われます。家族が引き裂かれます。社会の発展に使われなければならない資金が浪費されます。あらゆる有害物が空中にまき散られます……ウイルス、毒ガス、汚染物質などです。科学者は、煙の層におおわれた荒涼とした冷たい世界になることを警告しているほどです。この煙は、太陽をさえぎり、農作物を枯らしめます。

この前例のない危機に直面して、私は、すべてのロータリアンに、平和の使者として、また、環境の守り手として、これまでに倍する努力をされるようお願いいたします。かつてないほど、私たちは自然を守る使命を負っているのです。ロータリーに捧げる私たちは、これまでも増して、かけがえのない住み家である美しい地球を救う闘いの戦闘に立たなければなりません。私たちは、子供たちのために、そのまた子供たちのために、「われらの天体、地球の保全」に尽力しなければなりません。

名古屋第1分区 IM討論より

1990年11月8日 名古屋ヒルトンホテル ホスト名古屋瑞穂RC

慈悲と奉仕

名古屋大須RC 岡部 快園

慈悲と奉仕というテーマをあげさせていただきましたが、ご承知のようにロータリークラブの発祥はアメリカでございます。最初はクラブ奉仕から職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕へとなっていくわけですが、すべてに奉仕がついています。考えてみると、ポール・ハリスはアメリカ人ですので、ロータリーの奉仕の根本は、キリスト教的博愛の精神だと思います。しかしロータリーが日本へ入ってくると、そこへ日本的奉仕も加わっていきます。日本における奉仕の根本は何かといえば、それは慈悲ではないかと思っています。では、慈悲とは何か、ということになるとそれを一番よく現わしているのが、母親が我が子に授乳している姿です。慈悲の根本は相手の喜びであり、また相手の痛みが自分の痛みであることが分かる心です。母親は我が子が喜べば自分も喜び、子供が泣けば自分の悲しみとなるわけです。奉仕の心はこうでなければなりません。あるパストガバナーから、こんな話をうかがったことがあります。温泉へ行き、アンマさんと呼んだときのことです。アンマさんは目が不自由で、これまでにロータリーから白い杖を何本もいただいているのだそうです。しかし、白い杖をいただいたこと以上にうれしかったことは、町の中で交差点を渡ろうとしたとき、自分の手をひいてくれた子供たちだったということです。実に考えさせられる言葉です。我々がこのエリにつけているエンブレムこそ、奉仕のもとではないでしょうか。これは決してエリートもステータスのシンボルでもありません。電車に乗ると、お年寄りや体の不自由な人、あるいは小さなお子さんを連れた母親を目前にして、平気で座っている若者をよく見かけます。こういうとき、このエンブレムが私たちに動け、動けと督促しています。自分達が席を譲れば、エンブレムも私たちの体と一緒に動きます。同時に、周りにいる人達の心の歯車も動きます。ロータリアンには、お年をめした方もおられま

す。したがって、席を譲っていただくなど、逆の立場で奉仕されることもあるでしょう。そういう時「あなたの行為は、ロータリーの奉仕の理想だと思います。これからもその心を忘れずにいてください。ありがとうございます。」と声をかけていただきたい。そうすれば、席を譲った若者にも、素晴らしいロータリー感をもっていただけることになるはずです。最近、自分の歯車を動かさず、クラブ全体で中心の方だけ動いて、私どもはふちの方ですべていることも多いのですが、やはり個々に歯車を動かす必要を考えていかなければなりません。

コメント

中村繁男ガバナー

私も全く同感です。アメリカのロータリーの奉仕のもとでキリスト教からでていることは、ポール・ハリス伝なんかを読んでいても分かります。現在のブラジルのパウロ・コスタ氏も敬虔な信者です。ロータリーの活動や運動は、キリスト教と関係があるわけです。今年のテーマも「思いを尽くし、熱意を尽くし」となっていますが、こういったところにも宗教的な考え方は表われています。このロータリーの考えを、仏教に置き換えると、慈悲ということになるという岡部さんのお考えの通りだと思います。ロータリーとは何か、というのは根本的な問題ですが、私は相手に対する思いやりであると考えます。ただ、相手を思いやって、その考えを実行するのがロータリーであると思っています。そこにロータリーの基本があるのです。ですから、クラブとしての自主的な活動をしてほしいと思っています。ロータリーが巨大化するにつれ、衆の力を頼って、ある程度は自主的でないような仕事もできます。そうしたものがあっても悪くはありません。しかし、根本的には、岡部さんの言葉を借りれば慈悲であり、他人に対する思いやりで、これを実行に移すことこそがロータリーだと思っています。したがって、このエンブレムはエリートのシンボルでも何でもありません。

ユースサービスについて

名古屋RC 吉 田 敬 三

私は、只今ユースサービス委員会の副委員長をしておりまして、その立場からユースサービスについて名古屋クラブがどういうことを行なっているかをご紹介します、皆様方のご参考にさせていただければと思っています。ユースサービスという言い方は、名古屋クラブ以外ではあまり使われていないのではと思われます。主に、青少年奉仕委員会とされていると聞いております。英語と日本語の違いくらいで、別に大きな違いはないはずです。名古屋クラブの活動方針として、今年の委員長がお考えになったのは、これから伸びていく青少年と積極的にふれあい、各種活動への支援を通じて、彼らの成長の手助けとなるようにする、ということをやっています。このことは、他のクラブの青少年奉仕委員会と精神においては同じです。具体的には、市内の中学校のバスケットボール大会を夏に行っています。この優勝チームに、名古屋ロータリークラブ杯を差し上げています。こういったスポーツを主催することによって、若い人達との交流の機会がもてるといって、楽しい企画です。他でも、同様の企画をされているクラブもあるかも知れませんが、是非、スポーツでカップをお出しになって、その表彰式を設営されてはいかがでしょうか。それから特筆出来ることにロータリー少年キャンプがあります。名古屋YMCAのご協力によって、毎年、夏休みのお盆のころ市内のロータリアンの子弟の中学、高校生を対象としてすでに何回か実施しております。以前は、根の上高原へいっていましたが、最近は木曽福島の方にある日和田高原へ行っています。この夏、27回目のキャンプを行ないました。ロータリアンの子弟の外にも、実はロータリアンの交換学生として日本へ来ている方もこれに参加し、国際交流が行われています。このところ、ロータリアンの子弟のご参加が若干少ないということで、是非皆様方のご息のご参加も検討になられてはいかがでしょうかとぞんじます。非常に刺激を受ける体験の場だと考えております。その他にも、補助、支援とい形でお金を出す事業も行なっておりますが、私どもは、このスポーツ

とキャンプが継続的にかつ実効を上げている事業として、皆様にご報告できるのではないかと考えています。

コメント

中村繁男ガバナー

名古屋ロータリークラブでは、おそらく戦前からユースサービスという言葉を使っていたと思います。スポーツ振興、少年キャンプは大変素晴らしいことです。さらに市内で唯一、インターアクトクラブを提唱しておられます。これはYMCAを中心として、名古屋市内の高校生を集めてやっておられるのですが、人数はなかなか思うようにならないのが実情だとうけたまわっております。どうかユースサービス、インターアクトへのご支援もお願い致します。

刈谷知立RC設立報告

特別代表 鈴木孝平 (刈谷RC)



“知立市にロータリークラブを”との歴代ガバナーのご要請は公式訪問の度毎にくりかえされ、その度に考えては見るものの踏ん切りがつかず、かれこれ10数年が経てしまいました。

この度、新クラブ誕生の強いきっかけは高沢パストガバナーの強力パンチと中村ガバナーのカウンターブローでした。

知立在住の会員全員14名、刈谷在住の池田委員長、神谷、沢田の計17名をチャータメンバーとして移籍。創立総会を1月16日に挙行。創立会員31名をもってスタート致しました。

昨年3月26日、中村ガバナーの要請を受け4月2日に研究会発足以来9ヵ月半で池田委員長の指導力と宮田会長の強力体制、そして刈谷ロータリークラブ102名の熱心な努力と14名の若さと情熱に満ち満ちたすばらしい新会員を迎えることによりめでたく創立総会を迎えることができたことをご報告いたします。



癌の告知

豊橋RC会長
森 澄

癌の告知……そのⅠ

少し前の朝日新聞の社説に「残された生をどう支えるか」という題で、癌の告知の問題や、末期の医療について述べてありました。

その記事によりますと、日本の場合では、自分が癌になったら知らせてほしいという医師は80%もいるのに、同じ人物が患者には殆ど告知しないと答えています。

米国では1961年の調査では「告知しない」派は88%でしたが、1977年の調査では「告知する」派が98%と完全に逆転しています。

米国では告知しなかった場合に、医療訴訟で医師が負けるという理由と、ホスピス等が発達していて、告知した後の死の不安と孤独を支える組織が完備しているために、医師達が勇気をもって告知出来るのではないかと思います。更に外国人の場合はキリスト教徒が多いことも告知の傾向を多くしている要因だと思います。

キリスト教徒の場合は、生身の人生はせいぜい数十年であるが、死後の天国で神の身許での生命は永遠であるとの考えで、決して死を怖れていないと云われています。この様な考えを持っているキリスト教徒でさえも、癌を告知した後の反応は、否認→怒り→うつ→受容の段階を経過すると云われます。

ホスピスについては、米国では150の施設があります。日本では1981年に始めて聖隷三方美容院に作られてから現在までに15の施設が出来ていますが、いずれもその規模は小さく、施設数もまだまだ決定的に不足していると云えます。

こんな後一層日本でもこの様なホスピスが増えることを願っていますが、キリスト教徒でない私のような俗人にも、従容として死を迎えられるように導いてもらいたいと願って止みません。

祈るべき神と思えど神も病む 作者不詳

眠れば死相指ほどの灯が沖に点り 星野昌彦

癌の告知……そのⅡ

私の親友でもあり仲人でもあります当クラブ会員の足立さんは、日頃「俺がもし癌になった

ら、俺にだけ隠さずに話してくれ」と云っておられます。彼にだけという意味はよく解りませんが、奥さんを動揺させまいというやさしい心使いなのか、また奥さんに内緒で整理しなければならない事が色々あるためなのか、その真意は聞いたことはありませんが、とに角ちゃんと告知してあげようと思っています。

最近では日本でも癌を告知する傾向に段々なりつつありますが、癌の末期のミゼラブルな様子を数多く診て来た私共医師は、癌を告知されて果して従容として最後の時を迎えることが出来るかどうか不安であります。まして私などは宗教心もなく、死後の世界で安楽に過せるなどと考えてもいけませんので、告知されればきっと大いに落ち込んだり、迷ったりすることだろうと思います。

日本の医学教育は、たゞ一筋に病理学的立場からだけの治療や処置のみを教え、患者の心の悩みや際限のない絶望感を患者の側に立って、共に克服してゆくようなことは教えません。

Death Education をもっとしっかりと教えるべきだと思います。

ひと時の延命に明け暮れて、人間の生命の尊厳さに対する思いやりに乏しいと自覚するならば、医師は自らの努力で自分自身の人間性を高め、教養・思想を深めるようにしなければならないと思います。そして全人格をもって患者に接し、患者の深い悩みを共に解決するという態度がなければなりません。

人の死ほど尊厳なものはありません。日本では死に対しては顔をそむけ、真正面から対決しようとしていないと思います。それは死に直面した患者と共に悩もうとする宗教家や医師がいないためなのか或は日本人全体の宗教的帰依の心の不足なのか解りませんが、とも角癌を告知するという事は、それから暫くの間、医師と患者が共に死を見つめ、その後の安らかな心を握もうとする努力の始まりであると考えなければなりません。

この問題を考えながら、自分自身の思想の貧しさ、読書量の不足などをしみじみと反省している今日此頃であります。

死ねば路傍の石よタンポポなど咲く 柴田正三

眠れねば遠雷のドラム楽しむか 柴田正三

註：豊橋RCの例会での会長スピーチの原稿です。

わが町の文化応援

—クラシック演奏会— 1991・2・10 津島RC



「優秀な演奏家たちに地元で活躍できる場を」と、津島ロータリークラブ（森島利仁会長）が2月10日に津島市萩原町の県津島勤労福祉会館で、クラシックのチャリティーコンサートを開催した。

同クラブの趣旨に賛同した地元の4人の女性演奏家が無料出演することになり、同クラブでは、「地域文化の向上を図り、地元演奏家が出演する本格的なコンサートです。ぜひお出かけ

下さい」と呼びかけた。

無料出演するのは、ピアニストの江上敦子さん（23）（津島市）、山田聡子さん（23）（同）、田中由美さん（23）（八開村）とバイオリニストの内田真規子さん（25）（立田村）。ほかに、横浜市を拠点に全国的に演奏活動をしている「HAMAクラシックアンサンブル」も出演する。

地元の4人は、大学で学んだ後、各地のコンサート出演や音楽学校の講師を務めるなど幅広く活躍。このコンサートでは、即興的円舞曲（リスト）や幻想即興曲（ショパン）、バイオリンソナタ第5番（ベートーベン）など8曲を披露する。

同クラブはこれまでも地域の奉仕活動が続けてきたが、今回のような500人も収容できるホールでの大規模なチャリティーコンサートを開催するのは初めて。毎年、マンネリぎみの事業内容を見直して、企画した。

一宮女子高等学校インターアクトクラブ100回記念例会

1991・2・26

一宮女子高等学校インターアクトクラブ100回記念例会（3年生を送る会）が、2月26日（火）午後1時45分より、一宮女子高校会議室で盛大に開催されました。出席者は、ロータリー関係として、一宮北、一宮、尾西、一宮中央の4 RCの会長、幹事、インターアクト委員長12名が出席、学校関係者として、学校長、IAC顧問、IAC講師、元IAC顧問、IAC生徒42名、来賓として佐藤修一郎前校長先生 総数74名が出席致しました。

インターアクトクラブは、高校生を対象に、奉仕の精神を体得し、社会奉仕などに活かしてもらおうと、ロータリークラブの主唱で各地に結成されております。

一宮女子高校の同クラブは、昭和59年10月、一宮北RCが中心となり、一宮、尾西の三つのRCの後押しでスタート致しました。

現在1年生から3年生まで43人の会員が毎月自主的に例会を開き、地域社会への奉仕や国際交流の推進について話し合いを重ね、県、市の老人ホームの慰問、目の不自由な人への点字訳本作り、手話奉仕、恵まれぬ子の慰問と招待、障害者施設との交流、ゴミゼロ、献血運動のリーダーなど幅広い社会奉仕活動を実践展開してお



ります。2月26日は、その毎月の例会が発会後100回という記念すべき、「節目」に達したのを機に学校側を始め、手話や点字の手ほどきを受けているボランティア関係者と4 RCのインターアクト関係者を招いて開かれました。国際ロータリー第276地区、中村繁男ガバナーより、100回記念例会を祝し、今後の発展を祈るという祝電が披露されました。

記念例会で、渡辺佐保インターアクトクラブ会長は、先輩から受け継いで記念すべき例会を開くことができました。この輝かしい歩みを止める事なく、さらに実のある奉仕活動を心がけていきます。と卒業していく会員には奉仕のバトンを引き継ぐ決心を述べるとともに、前進の気持ちをあいさつに込めて話しました。



「河文」由来

名古屋RC副会長

林 永治郎

「十二代目河内屋文左衛門」ずい分古風な名前ですが、平成元年の8月30日に襲名披露をさせていただきました。私共は江戸時代より名古屋市の、現在は中区丸の内二丁目、昔は魚の棚と称した城下町の一角で日本料理の店を営んで参りました。名前に因んで屋号を河文と呼び約三百年になりますが、これはお客様方の vari ないご愛顧と同時に、代代の主人はじめ従業員が誠心誠意お客様のおもてなしに努めてきた結果であろうと思います。料亭というのは主人や女将は勿論、下足番から女中、板前、芸妓等がそ

れぞれお客様の立場に立って接待することを心掛けていてだけで、特別なものはありません。接客の作法、料理の味など極力昔のものを継承し、一つ一つの積み重ねの結果自然ににじみ出て来たものがその店の雰囲気、風格につながるのではないのでしょうか。

さて、ロータリー精神とは何かということですが、簡単に表現すれば一人一人が他人の立場に立ってものを考え、他人の役に立つような行動をしようということだといわれています。そしてこの精神こそ私共が祖先から受け継いで来ました奉仕の心そのものだと思います。襲名というのは単に名前を襲ぐだけでなく、お客様の立場になって考え、お客様の役に立つように努力するという心も同時に継承しなければならないと思っています。ロータリー活動にもそういう気持ちを忘れないで取り組んでゆくつもりです。

おめでとうポールハリスフェロー 1月分

加藤 隆一 (名古屋)
近藤 昌平 (")
鈴木 鋼一 (")
加藤巳一郎 (")
鵜飼 久夫 (名古屋名東)
白石 栄一 (名古屋大須)
津島 達治 (")
小島 鎮一 (")
坂口 実 (一宮北)
田中 卓郎 (名古屋西)
小島 英春 (名古屋名北)
脇田喜久雄 (一宮北)
花井 文雄 (東知多)
竹田 正巳 (")
新美 充 (")
竹川 實 (")
大橋 為秋 (稲沢)
青山 博仁 (犬山)
三輪弘之助 (")

水谷 欽一 (犬山)
丹羽 俊夫 (")
吉野 稔 (")
大海 一男 (")
田中 昭郎 (")
大岡 隆三 (名古屋西)
螺澤 一男 (")
内藤 秀次 (豊川)
黒野 貞夫 (名古屋千種)
佐野 寛 (")
安井 隆豊 (名古屋和合)
熊沢 教二 (豊山城北)
松山 卓市 (")
矢田 正一 (")
吉川 文剛 (")
竹内 一成 (豊田)
杉本 定治 (")
宮田一比古 (")
池田 勝興 (豊田東)

おめでとう米山功労者 1月分

安藤 秀男 (名古屋南)
井上 幸久 (名古屋栄)
松前 憲典 (一宮中央)

500本のしだれ桜 名古屋守山RC創立25周年記念事業

名古屋守山RC会長 三 好 豪



身体障害者、近藤順子さんによる植樹風景

1981-'82(福井会長)かつてクラブの親睦旅行で京都・丸山公園のシダレ桜の美しさに感激し、春の家族会の趣向を変え、地域社会奉仕を兼ねて、吾が守山RCのテリトリー内東谷山フルーツパーク(市営)に会員一人一本、計80本の植樹をしました。この時カナダからの交換学生ジェニファーとそのお父さん(偶々来日中)も一緒に植樹しました。これに対して本山名古屋市長から感謝状が授与されました。フルーツパークは“グリーンシティ名古屋”運動の一環として将来1000本のシダレ桜の名所となることを目指して、その実現に力を入れており、熱帯果樹園の大温室を持った全国に知られるユニークな公園であります。

1988-'89(富松会員)名古屋守山ロータリークラブ創立25周年記念事業として、当クラブテリトリーに在住の身体障害者近藤順子さんを招いて1988年に因で88本を同じフルーツパークに植樹しました。彼女は車椅子でお母さんに助けられて植樹しましたが、シダレ桜の横に寄贈したクラブ名と彼女が詠んだ「我か桜 共に生きよう いくとせも」という標識が「ふれあい



守山区の東谷山フルーツパークに咲く枝垂桜

の桜」と名付けて立てられました。彼女の言葉として「私でも出来たんだから。障害者の皆さんも、何か出来るんだと思ってくださるなら、私にとってこんな喜びはありません。私自身も亀のようにゆっくり、でも確実に進みたいと思っています。桜の苗木を植えさせて頂いたことは、私達にとりまして、生涯の思い出になります。そして苗木が大きく育って、きれいな花が咲いて、何十年の後も皆さんを楽しませてくれるのを望みます」

近藤順子さんの俳句

メルヘンを 花にたくせし 桜かな
友の幸 祈りて植える 桜かな

この日記念例会に出席頂いた蜂谷分区代理からは“ハチャ”に通じて大変嬉しいと喜ばれ、西尾市長からは末広がりの“縁起の良い数”としておほめ頂き感謝状を授受しました。

年輪を刻みながら成長してゆく樹木を将来500本を念願して私達ロータリアンの記念樹として見守りたいと思っています。

そして今シダレ桜の名所として定着し、見事な花を咲かせ、市民に親しまれています。

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1月14日 国枝 八十四郎(名古屋北RC) | 2月21日 青 木 和 夫(名古屋西RC) |
| 2月1日 沢 田 章(犬 山RC) | 2月26日 村 井 栄(一 色RC) |
| 2月10日 金 子 嘉 徳(名古屋西RC) | 3月10日 長谷部 利 夫(名古屋名東RC) |

地区だより ○ ○ ○ ○ ○

1990～91年度 R I 第276地区 第4回地区諮問委員会

平成3年3月9日(土)11:30～14:00名鉄グランドホテル12階・蘭の間

協議事項

1. 地区大会～信任状委員・選挙管理委員・大会決議委員各委嘱の件

ガバナー指名により委員が次の通り決定した。

- (a) 信任状委員会（選挙管理委員兼務）

福田 浩 三（委員長）

大隈 孝 一（委員）

盛田 和 昭（委員）

- (b) 選挙管理委員会

盛田 和 昭（委員長）

大隈 孝 一（委員）

福田 浩 三（委員）

- (c) 大会決議委員会

高 沢 隆（委員長）

奥 谷 博 俊（委員）

田 中 徹（委員）

2. 1991～92年度 分区代理委嘱の件
3. 地区大会プログラム並に表彰の件
4. 1991～92年度 地区委員決定の件
5. 1991～92年度 地区資金予算検討の件
6. 国際ロータリー会長指名委員候補推薦の件

1993～94年度の会長ノミニーを選出するアジア第3ゾーン地域における候補者（元R.I.理事）の名簿は次の通り

従って国際ロータリー細則第9条の規定により（2月1日～15日まで）候補者を選ぶ公式通知が各クラブ幹事宛に送られております。但し会長指名委員会委員の選挙に候補者を推薦しようとするクラブは、その例会において採択された候補者の指名に関する決議を4月1日までに事務総長宛に提出することになっている。

原田秀雄：シニア・アクティブ会員（大阪北R.C.）

末永直行：シニア・アクティブ会員（福岡西R.C.）

千 宗室：シニア・アクティブ会員（京都R.C.）

訂正とお詫び

ガバナー月信No.9.p8（註）田中徹PG
主宰の俳誌「酒」は「汀」の誤りでした。

7. その他

地区主要行事（3～4月）予定表

月	日	曜	行 事 名 称	開 催 の 場 所	時 間
3	2	土	地区米山奨学生歓送会	メルパルク名古屋	17:00～19:00
4	月		名古屋名北R.C. 創立10周年記念行事	ホテルナゴヤキャッスル	17:00～20:00
	23	土	田原バシフィックR.C. 認証伝達式	田原文化会館	16:30～18:00
4	3	水	名古屋名厚R.C. 創立総会	名鉄ニューグランドホテル	
	6	土	当276地区「地区大会」 第1日目	ホリディ・イン豊橋	13:00～16:00
	7	日	第2日目		9:00～17:00
	8	月	第3日目	東海カントリークラブ	8:30～15:30
	8	月	豊橋南R.C. 創立25周年記念行事	豊橋グランドホテル	18:30～20:00
	13	土	名古屋港R.C. 創立25周年記念行事	名古屋観光ホテル	17:00～20:00
	27	土	刈谷知立R.C. 認証伝達式	知立市中央公民館 知立出雲殿	16:00～17:00 18:00～20:00

報告事項

1. パウロV.C. コスタ会長来日中止の報告

1991年2月2日来日予定でありましたR.I.会長は、湾岸戦争の影響を懸念され中止する旨の連絡がありました。

2. ガバナー会出席の報告

（中村G出席・東京ホテルオークラ於）

3. 米山記念奨学生の選考状況報告（奥谷P.G.）

4. ロータリー財団学生の募集要領発送について

(a)応募申請期日：ロータリークラブ受付締切日～1991年4月1日より5月7日迄

：クラブより地区ガバナーへの締切日～1991年5月18日迄

(b)選 考 日：1991年6月8日(土)愛知学院大学於

(c)選考発表：ロータリー財団より1991年11月頃正式通知

第276地区

出席報告

1991年2月分

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'90年 7月1日	当 月	増 減					'90年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	100.00	3	39	44	+ 5	西 尾 張 分 区	あ ま	100.00	3	91	92	+ 1
	半 田	98.90	4	69	72	+ 3		尾 西	95.60	3	60	61	+ 1
	半 田 南	99.09	4	53	56	+ 3		一 宮	97.53	4	94	95	+ 1
	東 知 多	91.34	4	52	53	+ 1		一 宮 北	97.49	4	83	84	+ 1
	常 滑	97.68	4	63	66	+ 3		稲 沢	100.00	3	61	63	+ 2
	東 海	94.53	4	60	64	+ 4		西 春 日 井	93.55	4	65	65	0
	計	96.92		336	355	+ 19		尾 張 中 央	100.00	4	48	46	- 2
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	95.70	4	246	250	+ 4	三 河 第 一 分 区	津 島	100.00	4	94	97	+ 3
	名 古 屋 南	98.50	4	117	127	+ 10		一 宮 中 央	96.76	4	0	62	+ 62
	名 古 屋 港	100.00	4	120	122	+ 2		計	97.88		596	665	+ 69
	名古屋瑞穂	100.00	4	90	92	+ 2		渥 美	95.38	4	63	65	+ 2
	名 古 屋 中	100.00	3	146	149	+ 3		蒲 郡	96.57	4	79	81	+ 2
	名 古 屋 西	97.08	4	163	159	- 4		奥 三 河	93.29	4	43	44	+ 1
	名古屋大須	100.00	4	86	91	+ 5		新 城	94.26	4	59	61	+ 2
	名 古 屋 栄	98.04	3	52	67	+ 15		田 原	97.76	4	69	70	+ 1
	名古屋東南	100.00	4	93	98	+ 5		豊 橋	98.57	4	126	124	- 2
名 古 屋 第 二 分 区	計	98.81		1,113	1,155	+ 42		豊橋ゴールドン	100.00	4	63	70	+ 7
	名古屋千種	96.67	4	65	68	+ 3	三 河 第 二 分 区	豊 橋 北	98.57	4	117	116	- 1
	名 古 屋 東	98.71	3	115	111	- 4		豊 橋 南	99.56	3	81	84	+ 3
	名 古 屋 北	99.51	4	107	108	+ 1		豊 川	94.60	4	81	82	+ 1
	名古屋名北	100.00	4	66	70	+ 4		豊 川 宝 飯	95.84	4	57	60	+ 3
	名古屋名東	100.00	4	69	69	0		田原パシフィック	99.05	4	0	53	+ 53
	名古屋守山	96.95	4	97	97	0		計	96.95		838	910	+ 72
	名古屋和合	100.00	4	105	109	+ 4		安 城	97.27	4	80	84	+ 4
	計	98.88		624	632	+ 8		碧 南	98.97	4	75	78	+ 3
東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	3	83	85	+ 2	三 河 第 二 分 区	一 色	100.00	4	52	49	- 3
	岩 倉	98.81	4	42	43	+ 1		刈 谷	100.00	3	98	83	- 15
	春 日 井	99.43	4	86	89	+ 3		西 尾	98.79	4	87	86	- 1
	小 牧	100.00	4	70	70	0		岡 崎	100.00	4	101	110	+ 9
	江 南	97.40	4	75	71	- 4		岡 崎 東	99.01	4	79	81	+ 2
	名古屋空港	100.00	3	71	72	+ 1		岡 崎 城 南	99.65	4	67	72	+ 5
	尾 張 旭	100.00	4	63	62	- 1		岡 崎 南	100.00	4	88	97	+ 9
	瀬 戸	99.10	4	81	84	+ 3		高 浜	100.00	4	51	49	- 2
	瀬 戸 北	97.89	4	58	60	+ 2		豊 田	98.87	4	90	98	+ 8
	豊 山 城 北	98.57	4	74	73	- 1		豊 田 東	97.38	4	82	87	+ 5
	計	99.12		703	709	+ 6		豊 田 西	97.24	3	97	98	+ 1
								豊 田 三 好	100.00	3	26	25	- 1
								刈 谷 知 立	100.00	4	0	32	+ 32
								計	99.15		1,073	1,129	+ 56
地区内クラブ数 68RC				'90.7.1会員数	5,283名	増 加 会 員 数	313名						
				当月末会員数	5,555名	減 少 会 員 数	41名						
				当月平均出席数	98.24%	差引純増会員数	272名						

文庫通信 (第42号)

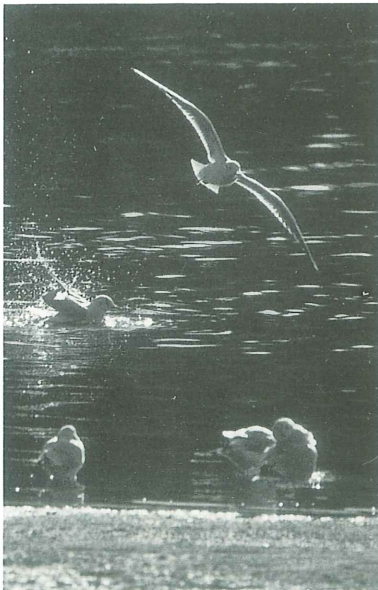
このたびは、4月の「雑誌月間」に因んで、文庫資料の中から下記11点をご紹介します。

「Our Magazine—Then and Now」 By Chesley R. Perry

“THE ROTARIAN”		1936年	1頁	[文庫]
「ロータリーの友(創刊号)」	ロータリーの友	1953年1月	62頁	[文庫]
「『友』20周年に寄せて」	ロータリーの友	1973年1月	4頁	[文庫]
「『友』創刊30周年を迎えて」	ロータリーの友	1983年2月	4頁	[文庫]
「世界に開く日本の窓『ロータリーの友』英語版創刊15周年を祝う」	ヒューM. アーチャー			
	ロータリーの友	1990年4月	1頁	[文庫]
「(改訂)温故知新ロータリーの今昔」	5:『ロータリーの友』発刊			
	6:『ロータリーの友』発行秘話)」	遠藤健三		
		1991年	14頁	[文庫]
「クラブ雑誌委員長 会議」	D.258	1988年	35頁	[文庫]
「ロータリーの友資料」	ロータリーの友事務所	1970～1991年	14～10頁	[友]
「(各地区)ロータリーの友懇談会記録」	ロータリーの友	1968～1970年	6～30頁	[文庫]
「ロータリーの友ニュース(月刊)」	ロータリーの友編集事務所	1965～1975年	2～16頁	[文庫]
(ビデオ)「ザ・ロータリアン:善意の歴史」	R.I.	25分		[文庫]
				[注. [] = 問合せ先]

ロータリー文庫

(☎03-3433-6456/FAX 03-3459-7506) 〒105東京都港区芝公園2-6-3 a b c 会館7階
午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



かバナー歳時記

ゆりかもめ翔けてまぎれし落花かな 繁男

昭和63年、岡崎公園にて。月信二月十五日号表紙に、大村月信担当地区副幹事の撮影した水鳥の写真が載った。左側に浮んでいるのが、「ゆりかもめ」である。東京隅田川や京都加茂川にはこの鳥が多く見られる。別名を「都鳥」という。岡崎へも毎年冬のはじめに渡って来て、桜の散る頃帰ってゆく。この句、中心は落花、鳥は添景である。地区内には犬山、五條川、山崎川、豊川、新城等々、桜の名所は多い。いまごろどこでもこの句のような風景が見られるのではないだろうか。